



2025 年 9 月 1 日

各 位

会社名 株式会社グラッドキューブ
代表者名 代表取締役 CEO 金島 弘樹
(コード番号：9561 東証グロース)
問合わせ先 専務取締役 CFO 財部 友希
ir@glad-cube.com

「SPAIA コイン」(仮称) 構想に関するお知らせ
ー JPYC 承認を契機に、円建てステーブルコインを活用した独自決済圏を構築へ ー

株式会社グラッドキューブ(大阪本社：大阪府大阪市、代表取締役 CEO：金島 弘樹、東証グロース：9561、以下グラッドキューブ)は、金融庁が国内で初めて承認した円建てステーブルコイン「JPYC」の発行開始を受け、当社独自のステーブルコイン「SPAIA コイン」(仮称)を 2026 年度内に発行し、JPYC や USID などの国内準拠型ステーブルコイン、および USDT など世界的に利用されている主要ステーブルコインと連携可能な設計を検討しております。この「SPAIA コイン」(仮称)構想について、本日開催の取締役会において決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 本サービス提供の背景

日本におけるステーブルコイン発行は、2023 年 6 月施行の改正資金決済法により法的枠組みが整備され、発行者には裏付け資産や償還性の確保が義務づけられています。このたび、JPYC 株式会社による「JPYC」が金融庁により承認されたことは、円建てステーブルコインの普及に向けた大きな一歩となります。

2. SPAIA の取り組み

当社はこの動きを受け、スポーツデータ解析・エンターテインメント領域でのデジタルエコシステムを強化するため、以下の取り組みを進めてまいります。

① 「SPAIA コイン」(仮称)の構想発表

- ・ 1 コイン=1 円相当の価値を持つ安定的なデジタル通貨として設計予定
- ・ JPYC および USID ならびに USDT と互換性を持ち、相互利用を可能にする構想

なお、SPAIA コイン(仮称)は、発行時に 1 コイン=1 円相当の価値を担保するため、法令に基づき銀行預金等の裏付け資産を確保する予定であります。現時点ではその金額規模は未定ですが、発行時点で必要額を適切に設定いたします。

② 独自決済圏の構築

- ・ SPAIA プラットフォーム上での利用（有料コンテンツ、サービス課金、コミュニティ活動など）
- ・ 外部パートナー企業とも連携し、幅広い利用シーンを創出

③ 透明性・信頼性の確保

- ・ 改正資金決済法に則り、適切な発行・管理体制を整備
- ・ 裏付け資産の公開、利用者への安全な償還性を保証

なお、本件 SPAIA コイン（仮称）の発行は、資金決済法上の「電子決済手段」に該当する可能性があります、その場合は資金移動業の登録が必要となります。当社は必要に応じて関係当局と協議のうえ、登録申請を進めてまいりますが、現時点における免許取得の見込み時期は未定であります。

3. 今後の展望

JPYC の承認は、日本のデジタル金融における歴史的な一歩であります。当社は「スポーツ×AI×テクノロジー×ステーブルコインの融合」を通じてユーザーに新しい体験を届けてまいりました。今後はステーブルコインを活用し、より自由で安心できる決済環境を実現してまいります。

そして、ブロックチェーン技術とステーブルコインを基盤とした独自のデジタルエコシステムを構築し、スポーツファン・データ利用者・パートナー企業を結ぶ新しい経済圏を創出することを目指してまいります。

4. 提供開始時期

「SPAIA コイン」（仮称）の利用可能とする時期については、2026 年度中のサービス開始を目標に準備を進めております。詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

5. 業績への影響

2025 年 12 月期の当社業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、当社が拡大を企図している新たな領域におけるサービスの一つとして、中期的な企業価値の向上に貢献するものと考えております。本件に関連して特別に支出する金額については現時点では未定ですが、当社直近純資産額に対して 10%未満の範囲で収まる見込みであります。確定次第速やかに公表いたします。

その他、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以上